

相澤 出 (AIZAWA Izuru)

2002年3月、東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。2002～2004年、東北大学大学院文学研究科研究生。2004～2005年、同科目等履修生。現在、爽秋会岡部医院研究員および東北福祉大学・青森公立大学非常勤講師。専攻は、理論社会学、農村社会学、宗教社会学。

主要業績

論文

- ・2004, 「マックス・ヴェーバーの宗教社会学における古典古代職人層の倫理的合理化 西洋における宗教の倫理的合理化の端緒について」『社会学史研究』26:79-96.
- ・2004, 「ヴェーバーにおける学問研究の社会学 「授与 - 諒解」論の視点から」『社会学研究』75:83-112.
- ・2004, 「昭和戦前期の農本主義における老農像とその変容 児玉庄太郎を事例として」『社会学研究』76:211-242.
- ・2002, 「マックス・ヴェーバーの社会科学論における知の「客観性」の諸相」『社会学研究』70:127-150.
- ・2001, 「マックス・ヴェーバーの価値自由論における他者「理解」と「批判」の意義」『社会学研究』69:53-78.
- ・2001, 「庄内地方における営農志向の現況と農村社会 酒田市生産組合長に対する第三次「営農志向調査」から」『社会学研究』69:181-210. (徳川直人, 劉章旗との共著)
- ・2000, 「マックス・ヴェーバーの社会科学論における「学派」分析の視角とその性格」『社会学研究』68:97-120.

共著

- ・2004, 早坂裕子・広井良典編著『みらいを拓く社会学 看護・福祉を学ぶ人のために』ミネルヴァ書房. («第14章 社会学の発展と社会学理論 社会学的思考の流れ」第一節・第二節を担当)

リンク

研究カテゴリ